



NIPPON GOOD PARTS NGP NEWS

2014 No.284

11月号

全国整備工場の皆様へNGP 組合員 200 拠点がお届けするお役立ち情報

第10回通常総会開催 今期テーマは500億必達への「一意専心」

年間部品総売上高500億円必達のため先人が培った
“NGP pride”を基盤としつつビジネス展開のイノベーションを敢行し
激変する事業環境への確に適応して参ります

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は10月27日、東京都港区の品川プリンスホテルで第10回通常総会を開催いたしました。部品取り車両仕入れ価格高騰、自動車保険等級制度改定、さらには消費増税による経済成長鈍化など、事業環境がますます厳しさを増す中、長谷川利彦理事長体制最後の1年となる今期において年間部品総売上高500億円を必達すべく、組合員一人ひとりが個々の数字に執着して、部品生産点数・売上高向上に全力を尽くすことを決意しました。



NGP協同組合第10回通常総会は、「お客様第一!」「よりよい商品を!より正確に!より早く!」「補修部品業界のリーダーたること!」からなるNGP三大信条を、出席者全員で力強く唱和して開会されました。

冒頭の挨拶で長谷川利彦理事長は、大橋岳彦前理事長(現会長)の後任として理事長に就任した3年前、「各組合員会社の成長は、今日やって明日できるというものではないことから、中期的な事業計画をしっかりと立て、毎年の成果を積み重ねて強い会社となること、強いNGP組織に繋がるとお願いしました」ことを振り返りました。

そして、使用済み自動車の輸出増加、オークション流出などによる仕入競争の激化、自動車保険ノンフリート等級別料率制度改定など事業環境の激変要因を例示しながら、「この3年間は『次世代への挑戦』、『直往邁進』、『継往開来』と、年度ごとにテーマを掲げてきましたが、最重要課題である年間部品総売上高500億円達成は、第10期の業績から

は厳しい現状であると言わざるを得ません」と、これまでの3年間を統括しています。

さらに、「組合員の皆さんが成長しない限り、将来を見据えるNGP協同組合の未来が開かれることはなくなるという危機感を持っております。組合員1社1社が成果を積み上げることで強い会社となり、それが結集することで強いNGP協同組合になると確信しております」と、NGP組合員1社1社の成長を強く促しています。

通常総会では平成25年度事業報告、平成26年度事業計画などについて審議され、いずれも満場一致で可決されました。

そして、平成26年度事業方針は『一意専心』が今期のテーマに採択されました。これは、NGPが掲げる目標・課題に対して、組合員それぞれが強い意志をもって取り組み、一つ一つ成果を積み上げることで、組織を強くしていくという決意を表しています。

今あるNGP prideは、諸先輩の一つ一つの努力の積み重ねによる英知と経験によって支えられてきました。しかし、次世代自動車の時代到来とともに、リサイクル部品ビジネスも今、新たな事業展開に向けてイノベーションを巻き起こす必要に迫られています。

そのため第11期は、前期に掲げた「2年間で年間部品総売上高500億円必達」の目標に向かい、積み残しを挽回しつつ突進する最終章とすることを提唱しました。

これに向けた取り組みのひとつとして、9

月より小林信夫副理事長をリーダー、理事全員を委員とする「500億プロジェクト」を発足させ、進捗状況を常に把握しNGP組合員全社の販売力を結集させる体制をすでに整えています。

また、組織体制を強化するため、1支部1会員以上の紹介運動を継続します。また、強いNGP組合員の育成支援のため、教育委員会が実施している各種研修会のカリキュラムを見直すとともに、基礎研修会を除く必須研修の無料受講を継続します。

そして、部品取り車両仕入れ拡大のため、昨年12月にリニューアルした「廃車王」のラジオCMを放送する全国FMネットのNGP冠番組「名車ソムリエ supported by NGP 廃車王」を今期も継続します。組織提携型の部品取り車両仕入れ拡大については、流通委員会およびNGP本部が連携して、新規提携先の拡大に取り組みます。

システム戦略においては、新保証書・検査証対応、プロトリオス「見積りガイド」に収録されている純正部品番号データの自動検索および車両諸元データ閲覧機能への対応に加え、海外向けリサイクル部品販売システムの開発を行います。さらには、基幹サーバーの入れ替えとともに、「NGPダイレクトシステム」の改修にも取り組む予定です。

「リサイクル関連総合サービスサイト」では、損害保険プロ代理店に加え、生命保険代理店や職域団体などに対し、修理見積りサー



NGP 協同組合第10回通常総会で挨拶する長谷川利彦理事長

ビス、廃車サービス、リサイクル部品検索サービスを提供し、NGPエコひろば登録工場への入庫拡大、「廃車王」による部品取り車両仕入れ拡大、リサイクル部品売上拡大を図ります。

さらにNGPエコひろば登録工場へは、このほどあいおいニッセイ同和損害保険(株)と共同開発したかんたん钣金見積システム「ぱっと！くん」(詳細は3ページ)を、

NGP組合員の提案型営業支援ツールとして展開して参ります。

昨年度は、リサイクル部品生産金額が対前年比102.8%の146億1,719万4,000円とわずかに盛り返し、リサイクル部品販売金額も同101.0%の466億4,618万4,000円と微増したものの、リサイクル部品生産点数は同99.5%の199万310点、リサイクル部品販売点数は同97.2%の

242万3,180点へと減少しています。

NGP協同組合では、質・量ともにリサイクル部品業界のリーダーであり続けるため、年間売上高500億円を必ず達成するとともに、自動車整備・修理工場の皆様へよりよい商品をより正確により早くご提供して参ります。今後ともご支援ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

今月のトピックス

T O P I C S

平成25年度品質優良組合員表彰

支部別部門で北海道支部が6度目の受賞 出荷点数全国平均以上部門は (株)エルバ北海道がトップに

NGP協同組合・商品管理委員会(鈴木博文委員長)は、第10期中にクレーム発生率が低く、かつ出荷部品点数が多かった組合員を、第10回通常総会場で表彰しました。

全国9つの支部のうち、組合員トータルでのクレーム発生率が最も低かった支部を表彰する「支部別部門表彰」では、クレーム発生率1.24%の中四国支部を大きく引き離れた北海道支部が、同1.07%で6度目の受賞を果たしました。

第10期における全国平均出荷点数8,939点を上回りながらクレーム発生率も

低かった組合員を表彰する「出荷点数全国平均以上部門」では、(株)エルバ北海道(出荷点数9,024点・クレーム発生率0.53%)、(株)アシスト・フクダ(同13,139点・0.67%)、(有)山一商店(同11,260点・0.87%)、(株)エビス(同28,659点・0.89%)、の4社が表彰されました。

そして、年間3万点以上の部品を出荷し、かつクレーム発生率も極めて低い水準を確保した大手組合員を表彰する「年間3万点以上出荷部門」では、(株)青南商事(同32457点、1.15%)、(株)ハセ川自動車(同



平成25年度品質優良組合員表彰を受賞した組合員の代表者。右から北海道支部の亀井洋指導員、(株)アシスト・フクダの福田健志社長、(株)エビスの胡定晃社長、(株)ハセ川自動車の長谷川利彦社長、(有)山一商店の山田彰社長、(株)エルバ北海道の青山豊常務、(株)青南商事の田名部藤夫支店長

56,764点・1.19%)の2社が、その栄光を手にかけています。

平成26年度NGP電話対応コンテスト表彰

初代王者に輝いたのは (株)アートパーツ長野の加藤小織さん

NGP協同組合・青年部会(太田道人部会長)が主体となり、NGP組合員全社のフロントマンを対象として8月1日より開始しました「NGP電話対応コンテスト」の表彰式が、第10回通常総会の席で執り行われました。

同コンテストでは、各社・営業所ごとに選出された1名ずつのフロントマンが、品質不良に関するクレームや、商品の値引きを要求するお客様およびNGPリサイクル部品在庫会社に、電話で対応する様子を動画で撮影しました。

それらを各社のNGP代表が審査し、準決勝に進出する9名の支部代表を決定したのち、9月25日に開催されたNGP理事会では理事会メンバーが各支部代表の動画を審査して、優勝決定戦に進出する上位3名を選んでいます。

そして、通常総会の前日にあたる10月26日に再度行われたNGP理事会では、優勝決定戦に進出した3名の動画が審査されました。その結果、(株)アートパーツ長野の加藤小織さんが初代チャンピオン、(株)茨城オートパーツセンターの松井佳英さんが第二位、(株)大橋商店の高橋良太郎さんが第三位の座を手にかけています。

通常総会では準決勝に進出した各支部代表の動画が、ダイジェストで放映されました。その中で、クレームに対しては誠実に謝罪しつつ詳しい症状を確実にヒアリングしたり、値引き要求に対してはAssyで供給されることによる作業時間の短縮や、NGP独自の充実した保証内容をアピールするなど、高レベルな電話対応の数々が披露され、通常総会に出席した組合員全員が真剣な眼差しで見つめていました。



優勝した(株)アートパーツ長野・加藤小織さんの電話対応動画



右から長谷川利彦理事長と、表彰を受けた(株)アートパーツ長野の鈴木修一社長、(株)茨城オートパーツセンターの松井佳英さん、(株)大橋商店の高橋良太郎さん

NGP 協同組合執行部記者会見

あいおいニッセイ同和損保との かんたん钣金見積システム 「ぱっと! くん」 共同開発を公表

第10回通常総会終了後、長谷川利彦理事長はじめ大橋岳彦会長、山田彰副理事長、中村昌徳副理事長、小林信夫副理事長、玉木基裕専務理事からなる正副理事長会メンバーが、恒例の記者会見に臨みました。

長谷川理事長は冒頭で、「まだまだするべきことは数多くありますが、残り1年の任期の中で、業界の関係各位と力を合わせて頑張っていきます」と挨拶しました。

その後、玉木専務理事は9月に発足した「500億プロジェクト」について触れ、「今まで見たことがないほど数字を追い、毎日報告、毎日反省させることをやりきっています。そのおかげで、ここ2ヵ月で本当に意識の変化が起きつつあります」と、年間部品総売上高500億円必達に向けたNGP協同組合全体の並々なめ決意と意気込みを、報道陣に向け熱く語っています。

そして、500億円必達のための具体的施策として、「廃車王」の積極的メディア展開、「リサイクル関連総合サービスサイト」の開設に加え、かんたん钣金見積システム「ぱっと! くん」をあいおいニッセイ同和損害保険(株)と共同開発し、今後NGPエコひろば登録工場を中心に無償で提供していくことを、初めて公表しました。

このほど「ぱっと! くん」を共同開発した背景には、2012年10月からの自動車保険等級制度改定以降、事故車の保険修理が減少し続ける一方、保険を使用しない自費修理、しかも損傷箇所が目立たない程度に「より安く」修理する軽補修のニーズが増加傾向にあることが挙げられます。

そのため「ぱっと! くん」では、軽補修の見積りに焦点を絞り、場所を選ばずカーオーナーの目の前で簡単に見積書が作成できる(但し、保険修理へ適用することはできない仕様)、タブレットを用いた操作しやすい仕様としました。また、リサイクル部品検索システム「NGPダイレクト」と連動し、新品部品の場合とNGPリサイクル部品を用いた場合、双方の総修理費をひと目で比較できる見積書が作成可能となっています。

さらに、保険を使用した場合としない場合との保険料を比較できる、あいおいニッセイ同和損害保険(株)の保険料シミュレーションソフトや、NGPリサイクル部品の保

証内容や修理事例、CO2削減効果などを詳しく紹介する動画も収録して、NGPリサイクル部品を活用した自費修理が「ぱっと! くん」だけで提案できるようにしました。

NGP協同組合では、組合員が根ざす各地域のNGPエコひろば登録工場を中心に「ぱっと! くん」を提供することで、NGPリサイクル部品の取引量を拡大しつつ新規取引先を獲得したいと考えています。

「ぱっと! くん」の導入をご希望された整備・修理工場には今後、NGPエコひろばにご登録をいただいたのちID・パスワードを



「ぱっと! くん」チラシ



記者会見に臨む正副理事長会メンバー

発行し、同時に操作マニュアルおよびDVDをセット提供するほか、ご要望に応じて「使う選択・使わない選択」のポスター、チラシ、のぼり、三角錐を無料提供する予定です。

「ぱっと! くん」に関するお問い合わせ、ご用命などについては、最寄りのNGP組合員へぜひご相談下さい。



トップ画面からはリサイクル部品に関する動画の再生や保険料の試算も可能

「ぱっと! くん」の修理見積書作成画面。新品部品での修理とNGPリサイクル部品を用いた修理、双方の総修理費が同時に比較できる

取替	2	2,940	1	0
取替		1,100		1100
脱着・取替・钣金料金		25,480円	脱着・取替・钣金料金	24,500円
部品料金	113,510円		部品料金	66,830円
塗装料金	47,410円		塗装料金	47,410円
合計	201,310円		合計	149,840円

NGP 今月のCO₂削減量



リサイクル部品利用に伴う削減効果

平成26年9月: **4,069t**



リターナブル梱包材利用に伴う削減効果

平成26年9月: **23.6t**

※一般社団法人 日本自動車工業会が1998年に公開している自動車LCA(ライフサイクルアセスメント)データをベースに、NGPにて1500cc車両の部品重量調査結果からCO₂削減効果参考値を算出しております。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

あいおいニッセイ同和損害調査(株)、第2回全国技能コンテスト開催 かんたん钣金見積システム「ぱっと! くん」を NGP 協同組合取り組み紹介コーナーで先行公開

あいおいニッセイ同和損害調査(株)は10月18日、(株)あいおいニッセイ同和自動車研究所・東富士センター(静岡県裾野市)で「第2回全国技能コンテスト決勝大会」を開催しました。

同大会は、同社アジャスターが日頃の業務で培った自動車保険事故損害調査の各種技術を広く披露するとともに、同社全体のスキルおよび存在感向上を図るため、前身であるあいおい損害調査(株)時代の2006年より2年に1回実施されているものです。

全国13拠点の技術調査部で実施された予選を勝ち残り、決勝に進出した各1名、総勢13名のアジャスターが、①お客様への説明責任、②損傷診断と修理計画の策定、③整合性判断と証拠保全、④料金算定、⑤画像撮影による証拠保全、の5種目を、個人および技術調査部ごとの団体戦形式で競い合いました。

また、会場内には各種アトラクションが設

けられ、そのひとつとしてNGP協同組合は、NGPエコひろば、廃車王、自動車リサイクル関連総合サービスサイトなどの活動を幅広くご紹介するコーナーを展示しました。

その中でも、あいおいニッセイ同和損害保険(株)との最も新しい共同取り組みとして、10月27日の正式発表に先駆け公開した、かんたん钣金見積システム「ぱっと! くん」は、特に多くの来場者から注目を集めていました。



NGP 協同組合コーナーにはリサイクル部品の実物も展示し品質の高さをアピール



「損傷診断と修理計画の策定」競技でトヨタ・カローラ・ルミオンの損傷範囲を確認する選手たち

大会では難易度の高い各競技において、いずれも劣らぬハイレベルな争いが繰り広げられ、団体戦では東北技術調査部が、個人戦では埼玉技術調査部・さいたま調査グループの臼倉敏行さんが第1位に選ばれています。



いち早く披露されたかんたん钣金見積システム「ぱっと! くん」

第26回中級研修会開催

リーダー・部下とも自ら考え 行動することの重要性を学ぶ

第26回中級研修会が10月6～10日の5日間、(株)あいおいニッセイ同和自動車研究所・東富士センター(静岡県裾野市)で開催されました。初日は台風18号上陸の影響を受け、一部で研修の開始が遅れたものの、生産、フロント、営業の3部門から計39名が参加しています。

そして、部門ごとに座学と実技からなる専門講義を受けたほか、3部門合同で仕事およびリーダーシップのマネジメント、自動車リサイクル業界と整備業界の動向について学びました。

生産部門を受講した(株)永田プロダクツの尾形直喜さんは「まだ当社に在庫する車両にハイブリッドカーはさほど多くありませんが、もし在庫した際に確認の方法がわからな

ければ、クレームの原因になってしまいます。そうならないためにも日々勉強し、講義を通じて学んだ『成功するための準備』をしていきます」と、進化し続ける自動車技術に遅れることなく自らの技術を磨いていくことの重要性を強く認識しました。

また、フロント部門を受講した(株)コーエイの中島信也さんは「今までの私は、指示されたことをただすればいい、目標を達成できればいいと考えていましたが、それでは会社としても、自分自身としても成長できないことに気付きました。部下を育成するうえでは、成功するための準備を部下に指示するだけではなく、どうすれば成功するかを考えて行動させることが必要になることを学びました」と、自他共に自発的に考え行動すること



生産部門の専門講義では、新型ホンダ・フィットなどハイブリッドカー各車の構造と作業上の注意点を学習

の大切さについて気付きを得ています。

5日目の修了式では、「自分の殻に閉じこもることなく、自ら積極的に行動し、部下の手本となり、自社そしてNGPグループの売上向上に貢献します」((株)アイエス総合、及川智貢さん)、「今回の研修で学んだ知識・技術・情報を活かして、より正確な機能・形状チェックを実施し、クレーム発生率の低下につなげます」(カースチール(株)東毛営業所、坂上智明さん)と、研修終了後に向けた決意を表明しました。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp/>

株式会社 NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<http://www.ngp.co.jp/>